



大企業のIT部門でサーバー・ネットワークの運用管理
に携わっている担当者に聞いた！

44.1%の企業が、
「運用管理工数の大きさ」に課題あり
監視ツールのリプレイス検討理由、
「監視機能の拡充」など

ネットワーク監視システムの導入・運用実態調査

Research Outline

調査概要

調査機関

プロGRESS・ソフトウェア・ジャパン株式会社

調査名称

ネットワーク監視システムの導入・運用実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチデータマーケティング「リサピー®」の企画によるインターネット調査

調査期間

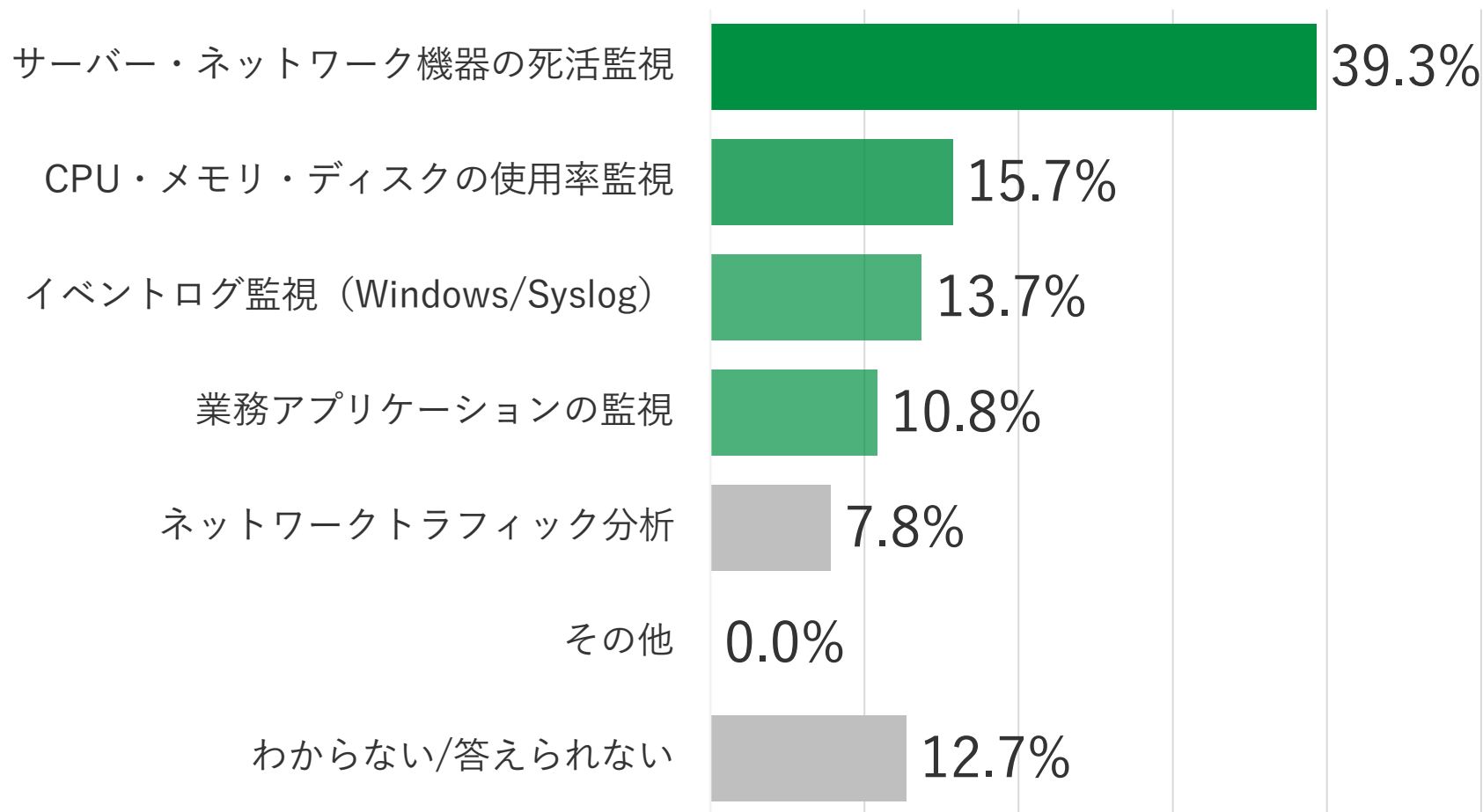
2025年2月17日～同年2月18日

有効回答

大企業（従業員数1,000名以上）のIT部門でサーバー・ネットワークの運用管理に携わっている担当者102名

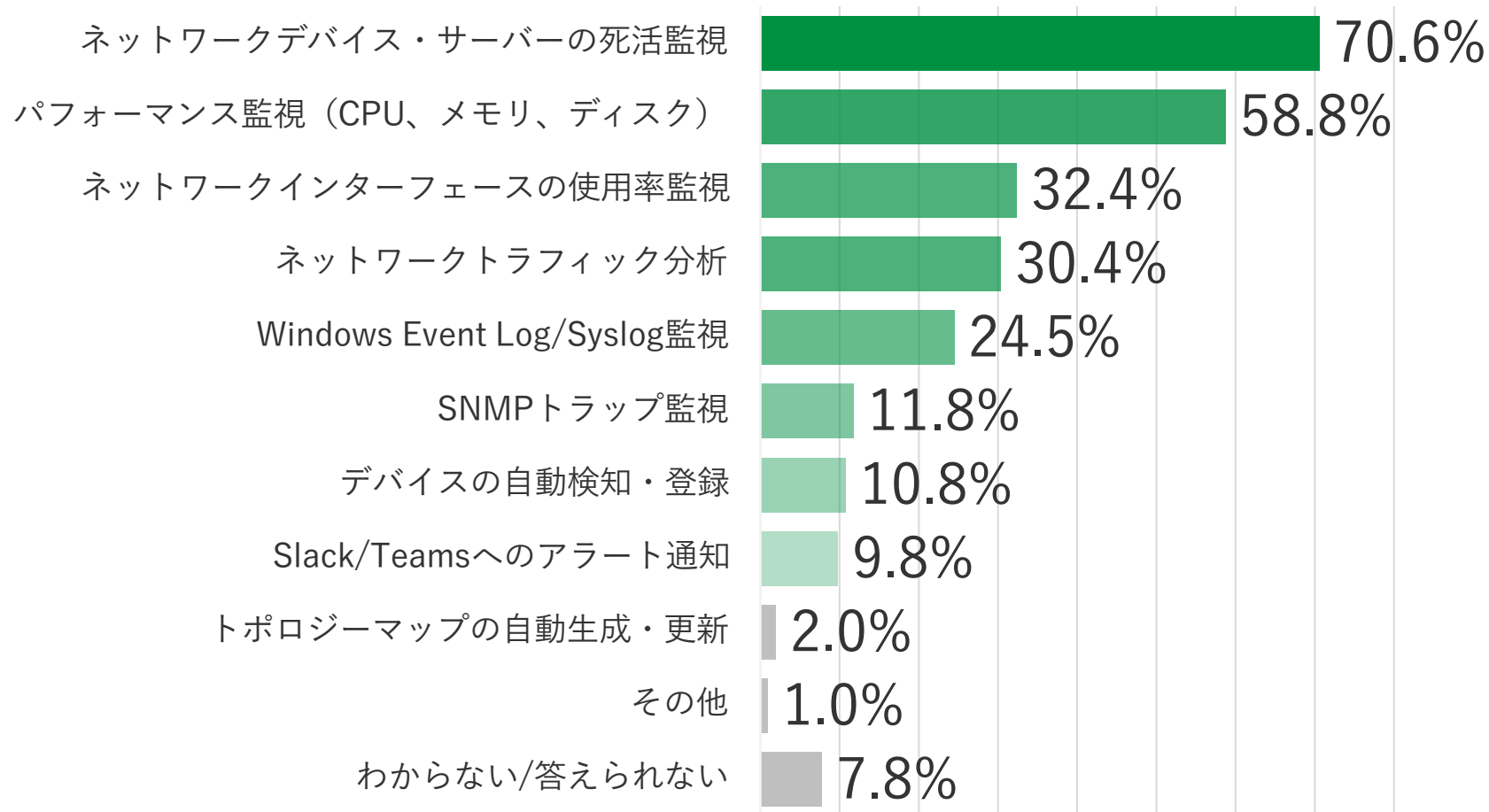
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

Q1 現在のネットワーク・サーバー監視において、最も重要視している監視機能はどれですか。



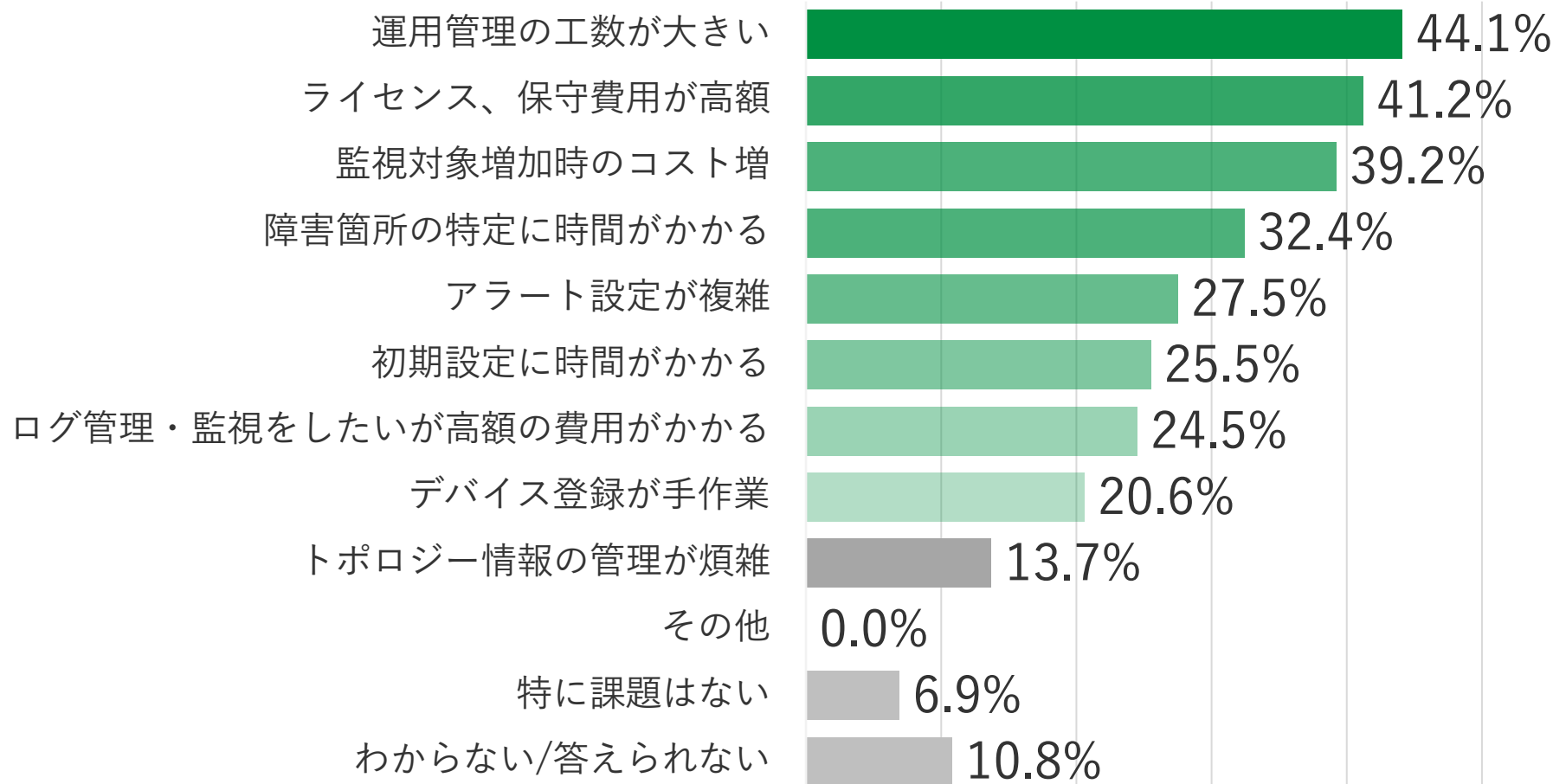
運用管理担当者の約4割が、ネットワーク・サーバー監視において、「サーバー・ネットワーク機器の死活監視」を重要視していることがわかりました。

Q2 以下の監視機能について、特に必要性を感じるものを上位3つまで選択してください。（複数回答）



必要性の高い監視機能、「ネットワークデバイス・サーバーの死活監視」や「パフォーマンス監視」が上位となりました。

Q3 現在の監視ツールについて、特に課題に感じていることを教えてください。（複数回答）



現在の監視ツールの課題は、「運用管理の工数が多い」が44.1%で最多の結果となりました。

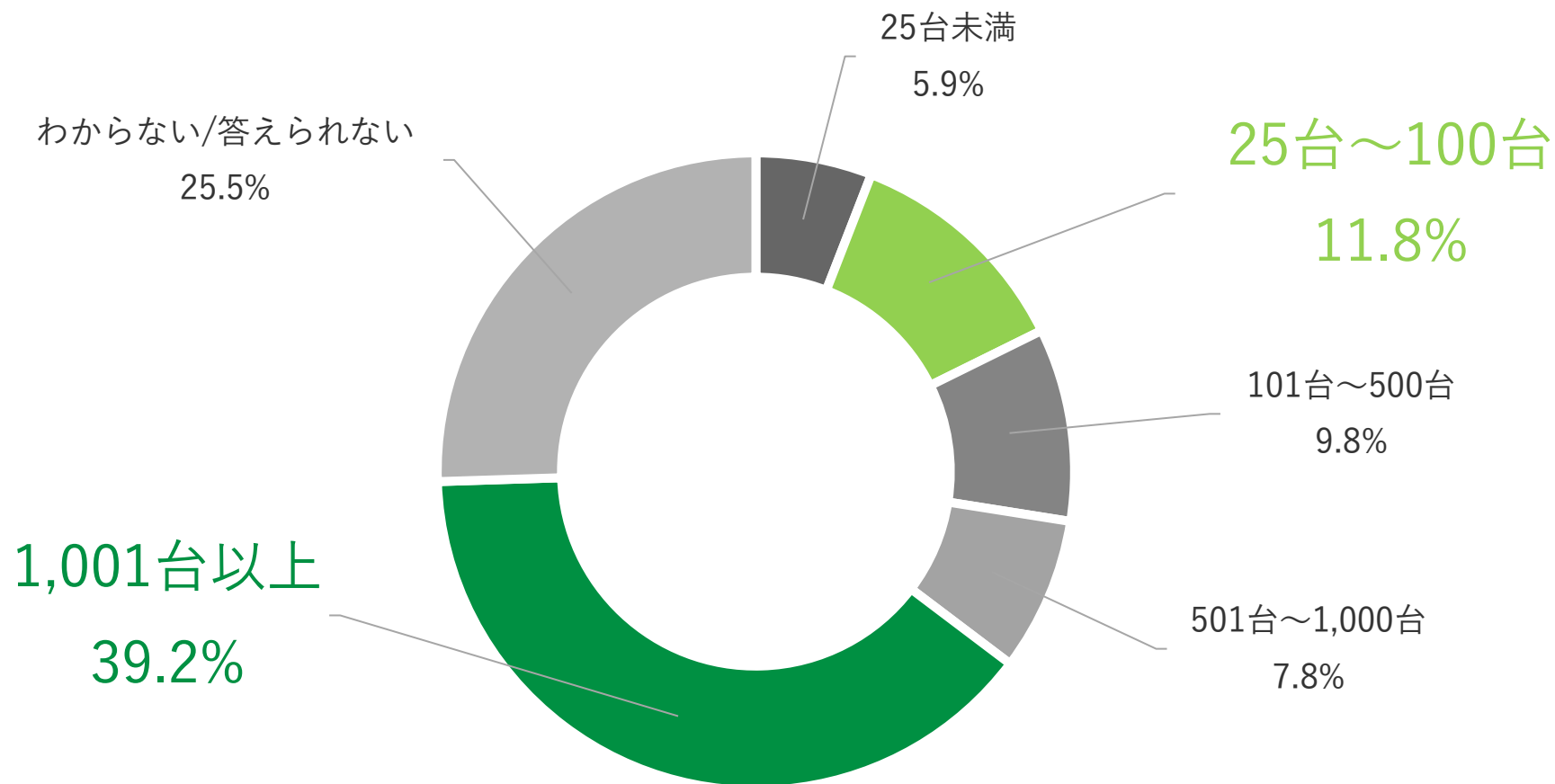
Q4

※Q3で「特に課題はない」「わからない/答えられない」以外を回答した方に質問

Q3で回答した以外に、現在の監視ツールについて、特に課題に感じていることがあれば教えてください。（自由回答）

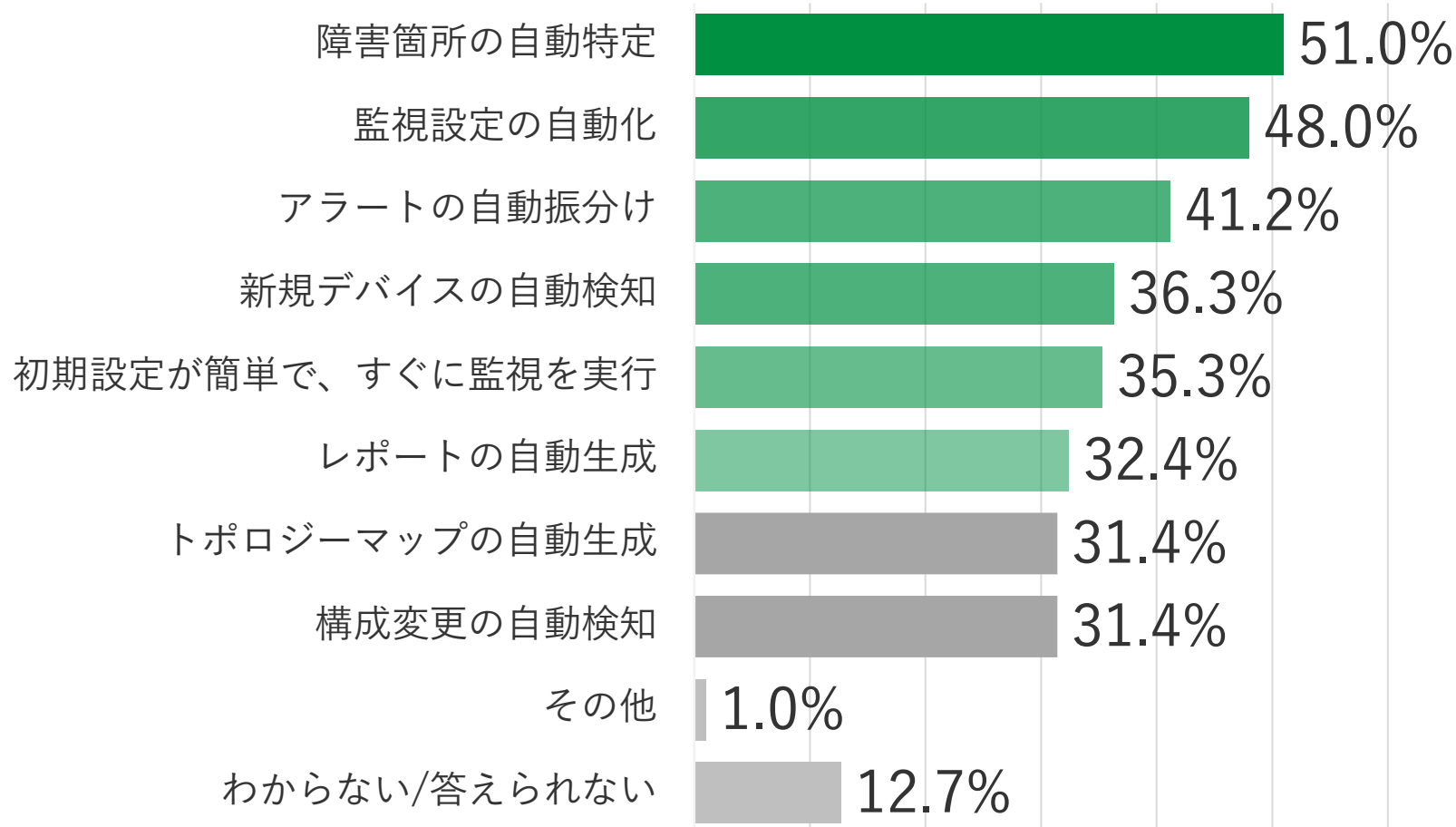
- 状況がわかるのはありがたいが、きめ細かな原因をつきとめるのに向いているのか疑問。
- リアルタイム監視が出来ていない。
- 運用、監視に専門知識が必要。
- 監視システムがバラバラでログを追うのが大変。
- 為替レートの変動の影響を受けるため、費用の予測が難しい。
- 監視ツールの新規利用者の学習コストが掛かる。
- 監視通知が多すぎて運用上の課題となっている。

Q5 監視対象デバイスの総数について、現在の規模を教えてください。



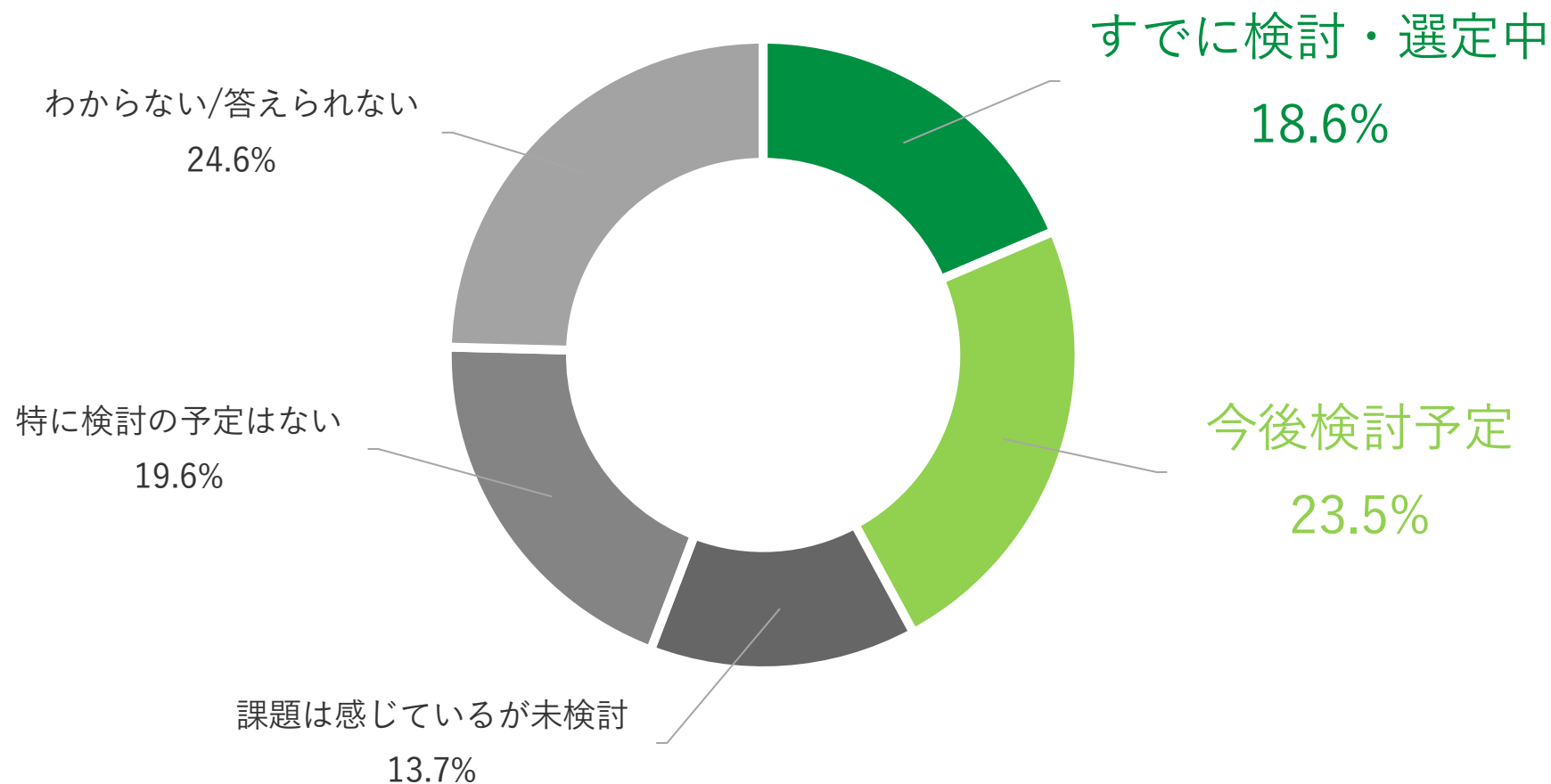
監視対象デバイスの規模は、「1,001台以上」が約4割を占める結果となりました。

Q6 監視の自動化機能について、特に期待するものを教えてください。 (複数回答)



監視の自動化機能に対して、
「障害箇所の自動特定」や「監視設定の自動化」を
期待していることがわかりました。

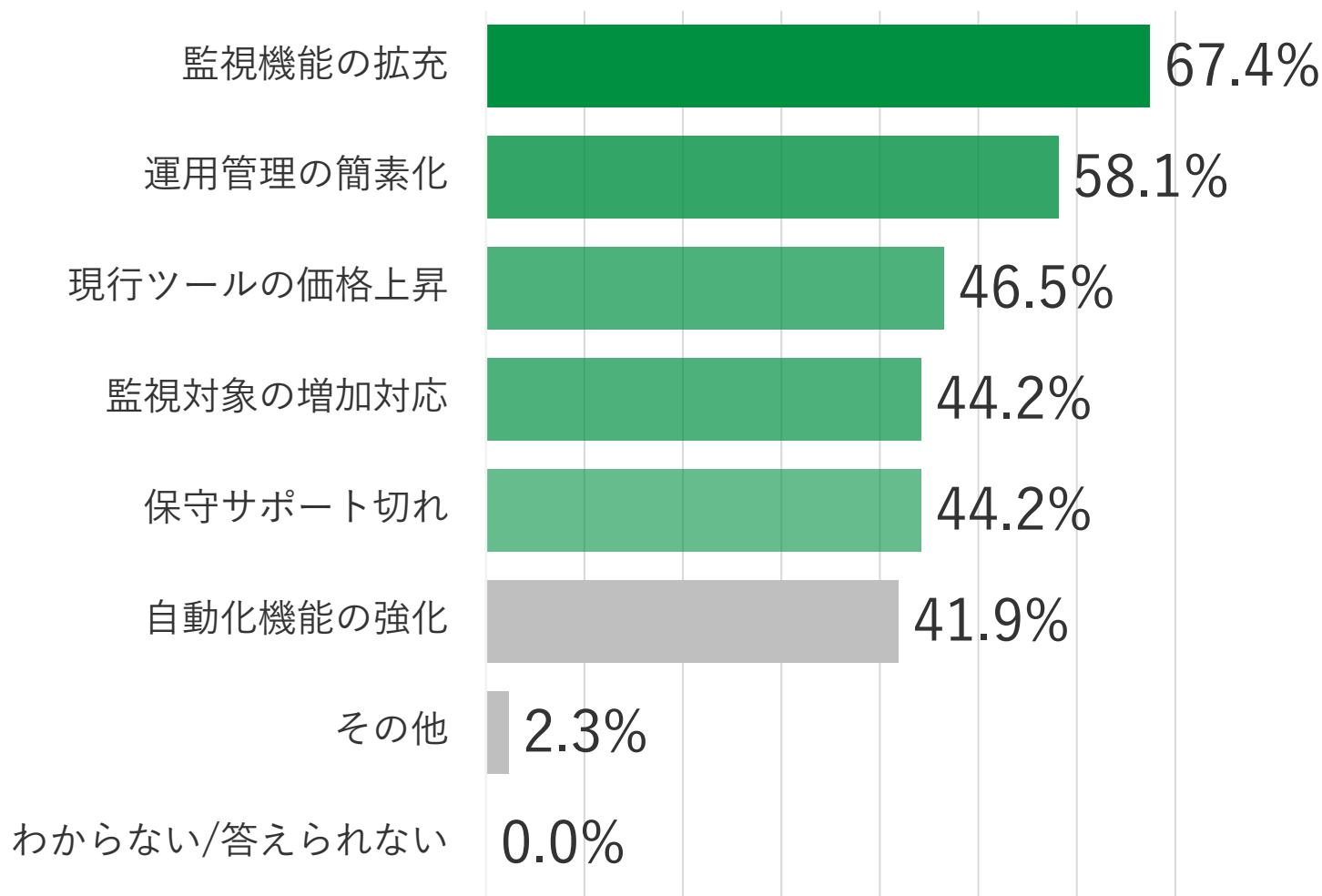
Q7 現在の監視ツールの見直しや他製品への置き換えについて、検討状況を教えてください。



監視ツールのリプレイスについて、18.6%が「すでに検討・選定中」、23.5%が「今後検討予定」と回答しました。

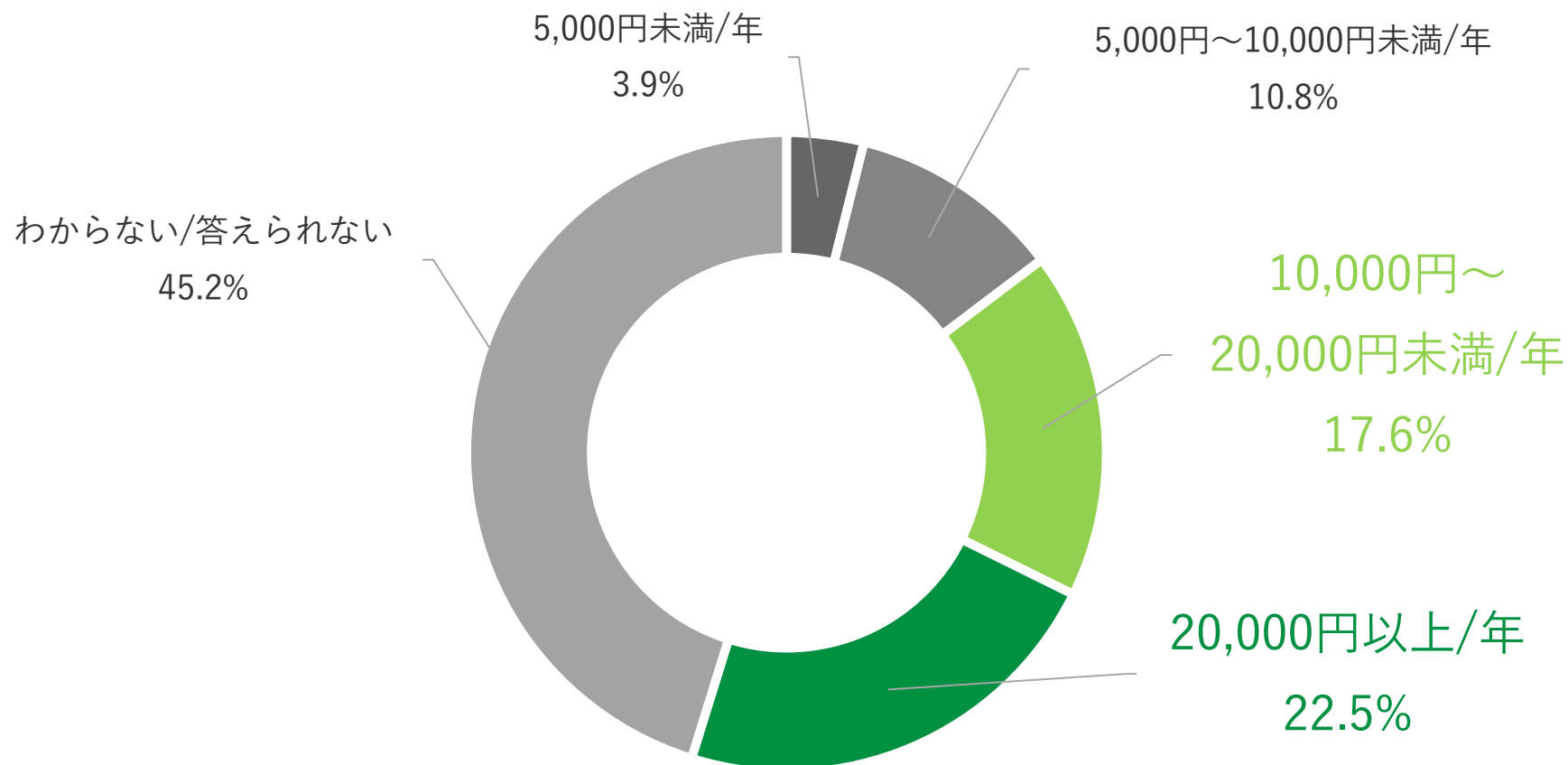
Q8

※Q7で「すでに検討・選定中」「今後検討予定」と回答した方に質問
検討理由として当てはまるものを教えてください。（複数回答）



リプレースの検討理由は、「監視機能の拡充」
「運用管理の簡素化」などが挙がりました。

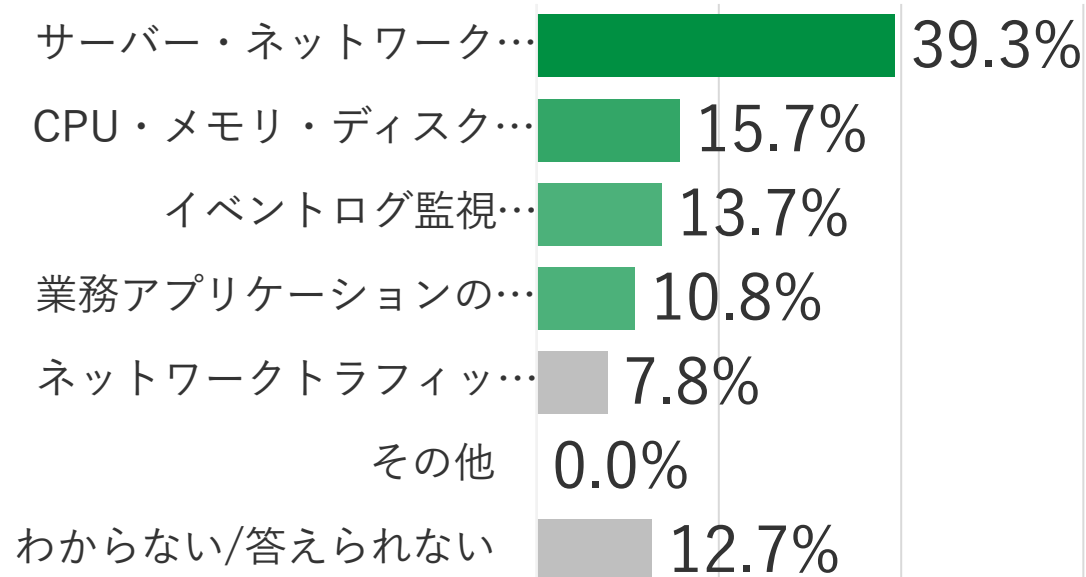
Q9 監視ツールの選定において、具体的にどの程度の価格帯を想定していますか。



監視ツールの価格帯は、4割以上が「10,000円以上/年」を想定している結果となりました。

プロGRESS・ソフトウェアからの リサーチ結果への回答およびご提案

Q1 現在のネットワーク・サーバー監視において、最も重要視している監視機能はどれですか。



WhatsUp Goldの機能

基本機能（死活監視）

基本機能（パフォーマンス監視）

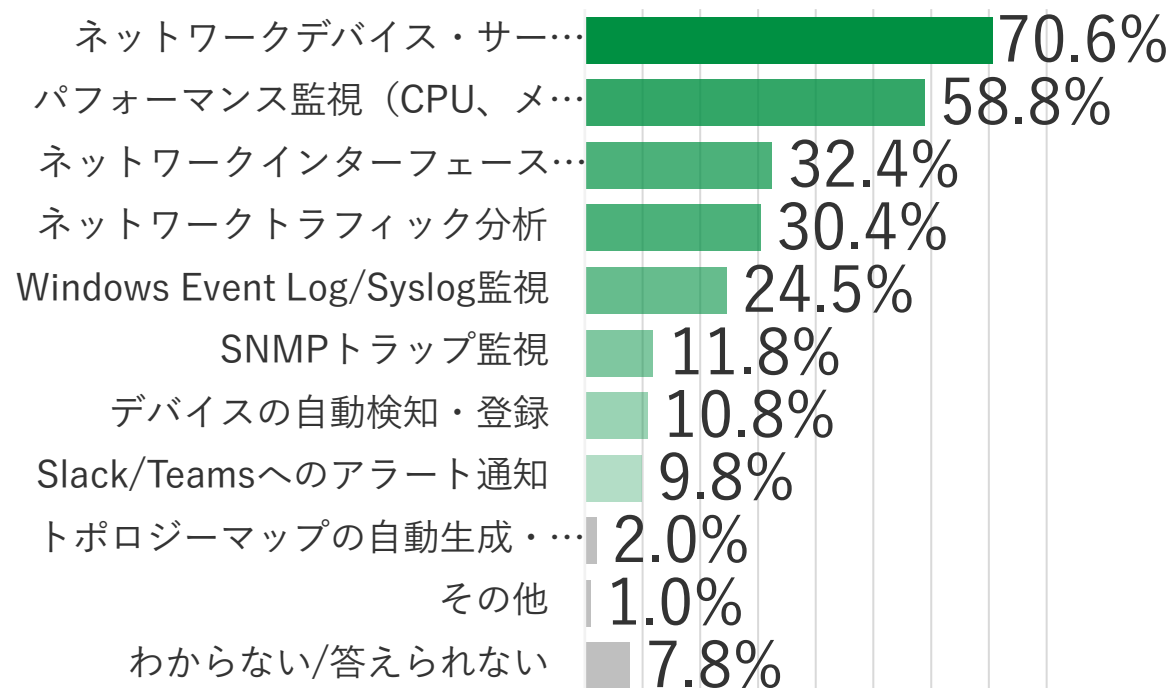
基本機能（パッシブモニター）

プラグインオプション

プラグインオプション

運用管理担当者の約4割が、ネットワーク・サーバー監視において、「サーバー・ネットワーク機器の死活監視」を重要視していることがわかりました。

Q2 以下の監視機能について、特に必要性を感じるものを上位3つまで選択してください。（複数回答）

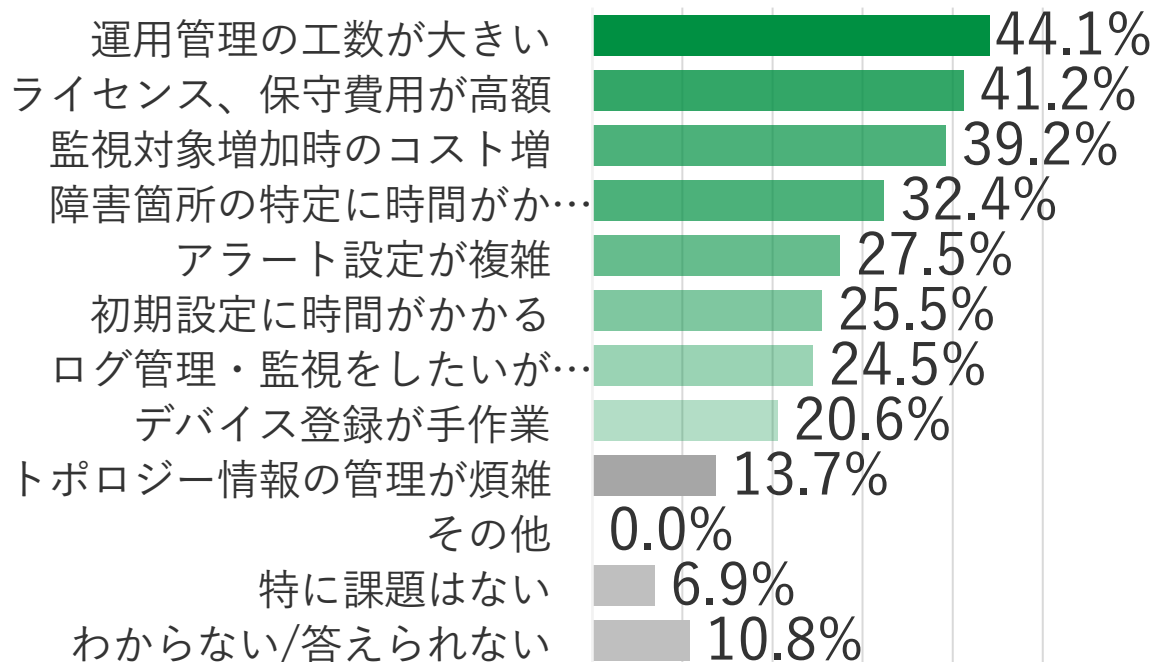


WhatsUp Goldの機能

- 基本機能（死活監視）
- 基本機能（パフォーマンス監視）
- 基本機能（SNMP監視）
- プラグインオプション
- 基本機能（パッシブモニター）
- 基本機能（パッシブモニター）
- 基本機能
- 基本機能
- 基本機能

必要性の高い監視機能、「ネットワークデバイス・サーバーの死活監視」や「パフォーマンス監視」が上位となりました。

Q3 現在の監視ツールについて、特に課題に感じていることを教えてください。（複数回答）



WhatsUp Goldの機能

マップ上にアイコンと色で状態を表示

マップ上でクリックすると詳細情報を表示

テンプレートが用意され簡単な設定

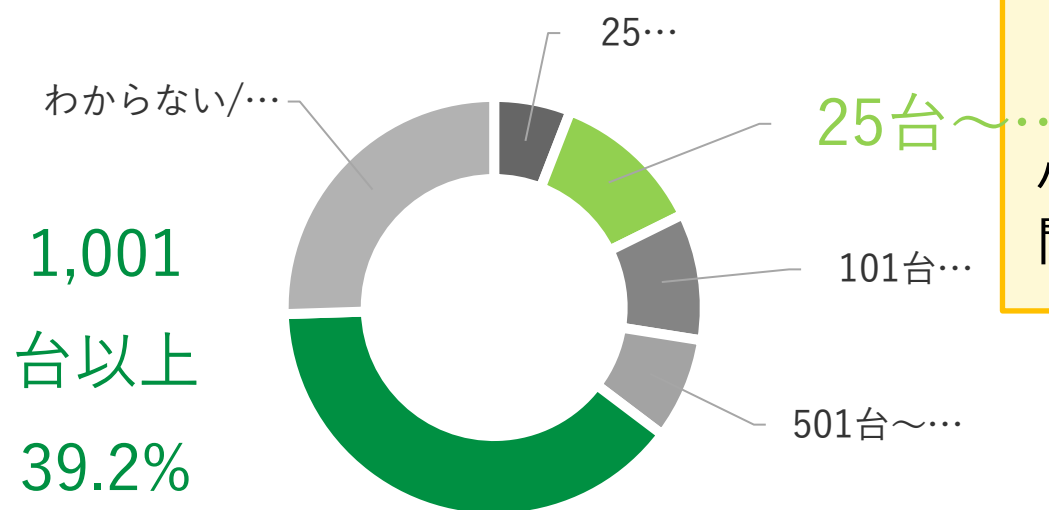
インストール、設定などは短時間で設定

設定などは短時間で設定

デバイス登録は自動

現在の監視ツールの課題は、「運用管理の工数が多い」が44.1%で最多の結果となりました。

Q5 監視対象デバイスの総数について、現在の規模を教えてください。

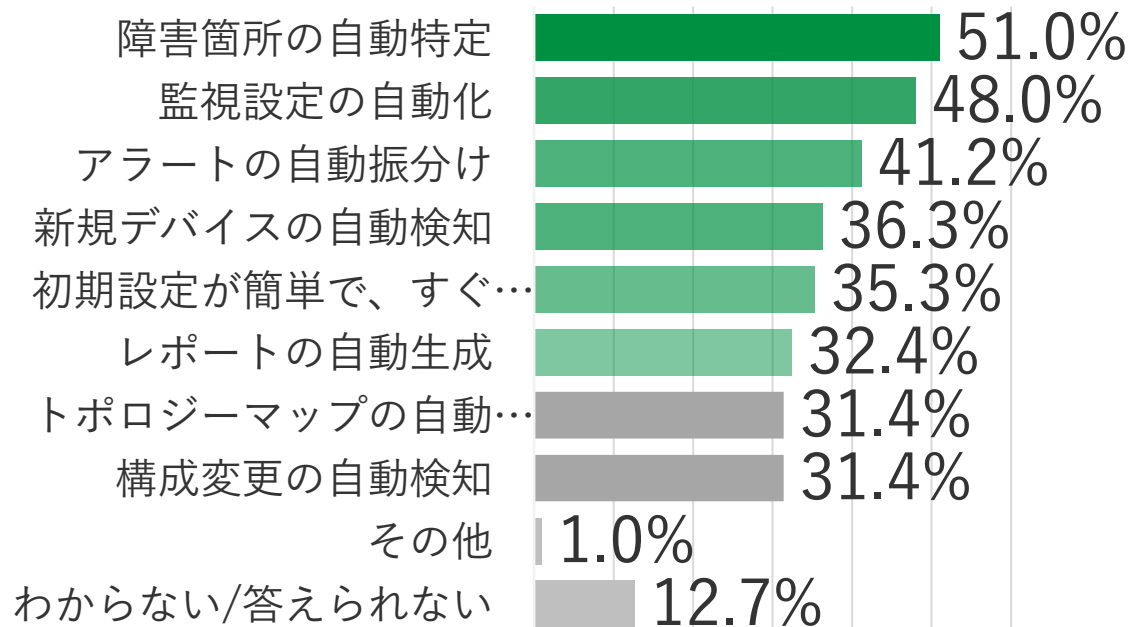


WhatsUp Goldのライセンス体系

小規模から大規模までポート数に関係ないデバイス単位の柔軟なライセンス

監視対象デバイスの規模は、「1,001台以上」が約4割を占める結果となりました。

Q6 監視の自動化機能について、特に期待するものを教えてください。 (複数回答)



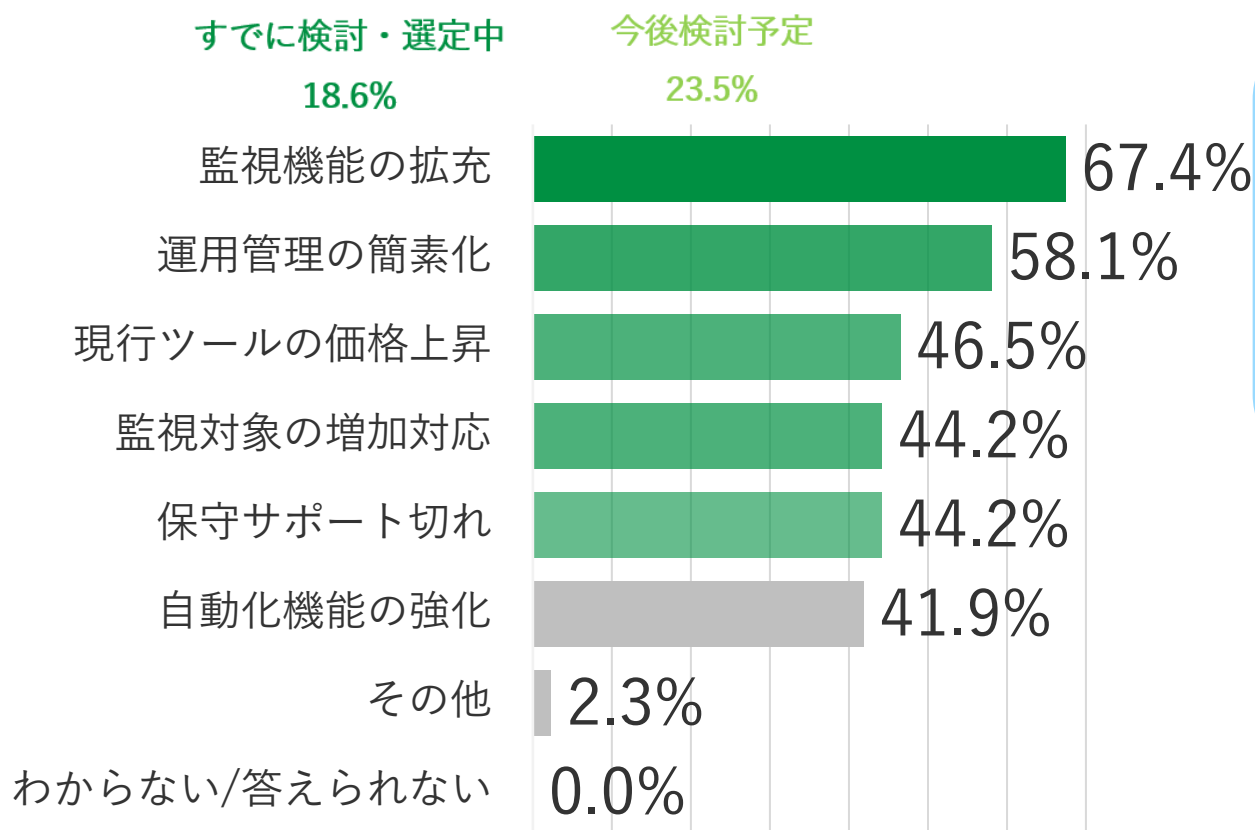
WhatsUp Goldの機能

障害デバイスは自動特定
死活監視、パフォーマンス監視設定は自動
ディスカバリーで自動検知
死活、パフォーマンス監視はすぐに監視可

監視の自動化機能に対して、
「障害箇所の自動特定」や「監視設定の自動化」を
期待していることがわかりました。

Q8

※Q7で「すでに検討・選定中」「今後検討予定」と回答した方に質問
検討理由として当てはまるものを教えてください。（複数回答）



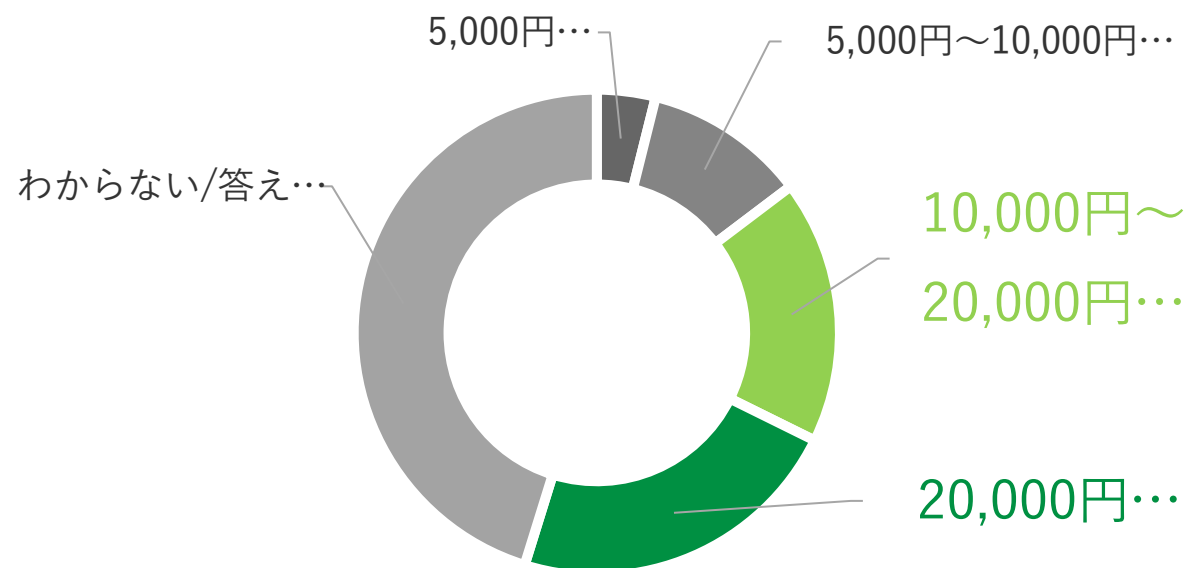
プログレスからのご提案

WhatsUp Goldは監視機能の充実がはかれます。
リプレイスに関して魅力ある提案を行います。

Q7で、監視ツールのリプレイスについて、18.6%が「すでに検討・選定中」、23.5%が「今後検討予定」と回答しました。

Q8: リプレイスの検討理由は、「監視機能の拡充」「運用管理の簡素化」などが挙がりました。

Q9 監視ツールの選定において、具体的にどの程度の価格帯を想定していますか。

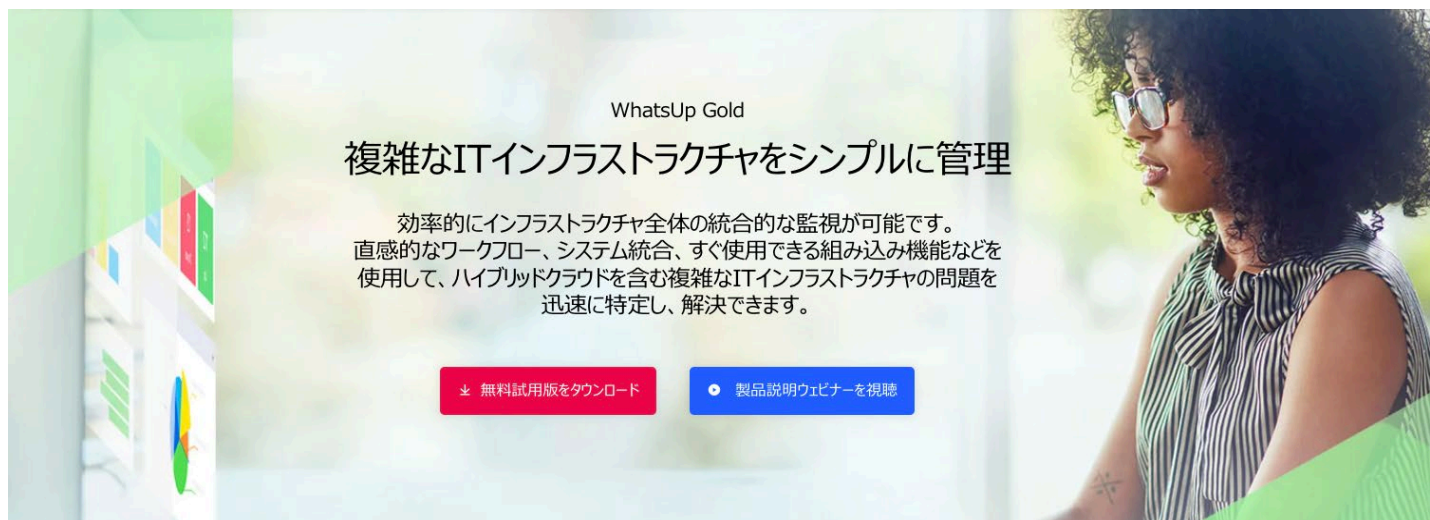


プログレスからのご提案

いつもお客様のご要望を聞き
魅力ある提案を行います。

監視ツールの価格帯は、4割以上が「10,000円以上/年」を想定している結果となりました。

複雑なITインフラストラクチャをシンプルに管理 「WhatsUp Gold」



WhatsUp Gold は、効率的にインフラストラクチャ全体の統合的な監視が可能です。直感的なワークフロー、システム統合、すぐ使用できる組み込み機能などを使用して、ハイブリッドクラウドを含む複雑なITインフラストラクチャの問題を迅速に特定し、解決できます。

クラウドでもオンプレミスでも、アプリケーション、ネットワークデバイス、サーバーのステータスとパフォーマンスを完全に可視化します。

詳しくはこちら：<https://www.whatsupgold.com/jp>

Contact

お問い合わせ

企業名

プログレス・ソフトウェア・ジャパン株式会社

MAIL

Sales_japan@progress.com

WEB

<https://www.progress.com/jp>

会社住所

〒106-0047

東京都港区南麻布4-11-22

南麻布T&Fビル8F